

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 観光コーディネート事業（緊急雇用創出推進事業）
-------------------	--------------------------------------

区分	番号	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	1	ときめきと感動のある観光地づくり
主要な施策	2	観光客のニーズに即応できる受入体制の充実
事務事業番号	006	事務事業コード 31112006 事業開始年度 平成 2 2 年度 事業終了年度 平成 2 2 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	観光コーディネート事業費（重点分野雇用創出事業）
------	------	------------	--------------------------

部 名	観光経済部	グループ名	観光室観光振興 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 連泊・滞在型等の観光推進に向けたコーディネーターを配置し、近隣市町や観光協会と連携した地域間の連絡調整を行うとともに、誘客や集客を促進する。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> （社）登別観光協会において、管内観光情報の収集や連絡調整、企画、打合せ、現地調査、資料等の作成のほか、広域で新たな着地型旅行商品などの造成や事業の再構築などの検討を行う。
成果	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 連泊・滞在型等の観光推進に向けたコーディネーターを配置し、近隣市町や観光協会と連携した地域間の連絡調整を行うとともに、誘客や集客を促進する。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	宿泊客延べ数	千人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,164	/	/	/	/
						/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 緊急雇用創出推進事業補助金	千円	4,004					0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円						0
合 計				4,004	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	1,299	1,334			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		1,299	1,334			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 平成23年4月に、北海道登別洞爺広域観光圏が観光庁に認定されたところであり、今後連泊滞在について、他市町と連携して実施しなければならない。
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 当該事業により、多くの観光客のニーズに対応が可能となっているため、数値には見えないが成果は上がっていると思われる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 今後、色々なメニューを作り上げ、より多くのニーズに対応することで、広域圏での連泊滞在観光客の増加に繋がる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 予算のほとんどが人件費であるため、削減は難しい。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	本年度、北海道登別洞爺広域観光圏協議会において、3つのワーキンググループ（プラットフォーム、プロモーション、情報発信）が設置されたことから、当該ワーキンググループを活用することとし、当該事業は終了とする。
-----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）